



明日から夏休みです。長期の休み中は子供たちだけで過ごすことがあるかもしれません。御家族で対策を話し合ってくださいと思います。よろしくお願いします。

## 災害が発生すると、こんなことが起きるかもしれません。

1 道路が渋滞したり、通れなくなったりすることがあります。

→仕事に出かけたおうちの人の帰りが遅くなるかもしれません。

2 電話が通じなくなることがあります。

→家族と連絡が取れなくなるかもしれません。

3 電気やガス、水道が使えなくなることがあります。

→夜は真っ暗になるかもしれません。

食事やお風呂、トイレなど普段どおりの生活ができなくなるかもしれません。

4 お店で物が買えなくなることがあります。

→食べ物なくなってしまうかもしれません。

5 想像できないことが起きることもあります。

→大人でもどうして良いのか分からなくなってしまうかもしれません。



## だからこそ、日頃の備えが大切です。

## 災害への備えを、家の人と確認しておきましょう。

1. 家具の置き方に気を付けましょう。

○テレビやタンスなどは、倒れないように固定しましょう。

○もし倒れたとしても、出入り口をふさがない場所に置きましょう。

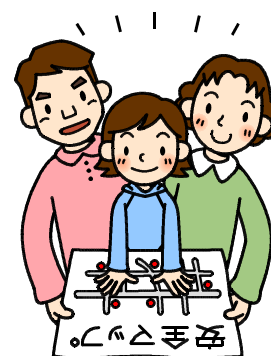
2. 食べ物や飲み物を備えておきましょう。

3. 非常用持ち出し袋を備えておきましょう。

○手の届くところに、懐中電灯やスリッパなども置きましょう。

4. 家族同士の連絡方法を確認しておきましょう。

5. 避難場所や避難する道を確認しておきましょう。



突然起きる災害にしっかり備え、楽しい夏休みを過ごせるようにお声掛けをお願いいたします。いざという時のために、以下のことについて話し合ってください。

家族の連絡方法は	
家族の集合場所は	

# 土砂災害への備えも！

「線状降水帯」という言葉をよく耳にするようになりました。これは、「次々と発生する発達した複数の積乱雲が並ぶことで形成される、線状の積乱雲の集合体。」という意味だそうです。ゲリラ豪雨という言葉がニュースで流れるように、各地で局地的な豪雨による災害が起きています。当地方も例外ではなく、当事者になる危険性もあります。

命を守るために、情報収集を欠かさないようお願いします。情報を収集する一つの手段として、気象庁による災害発生の危険度の高まりを示すホームページがあります。【「キキクル」で検索してください。】

また、以下のように行政から出される避難情報等も刷新されていますので、ご確認のうえ、いざというときには早めの非難をお願いします。

## 令和3年5月20日から

ひなんしじ

# 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

## 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
<b>5</b> 災害発生又は切迫	きんきょうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
<b>4</b> 災害の恐れあり	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
<b>3</b> 災害の恐れあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
<b>2</b> 災害が心配	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
<b>1</b> 今後次第に災害の恐れ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。

### 内閣府(防災担当)・消防庁